

老若男女が地域で安心して暮らす ～ともに動き・つながる～

1.人生100年時代の生き方

■ なぜ、男女共同参画

山口県の現状、高齢化率34.3%は全国第3位。

山口県の健康寿命 男性73.31歳(全国8位) 平均寿命80.51歳
女性75.33歳(全国32位) // 86.88歳

🌸 高齢者の潜在能力を社会参加や地域貢献に生かす。

➡健康寿命を延ばす秘訣！

➡高齢者が住み慣れた地域で元気に生き生きと自分らしく活躍。

今年の内閣府 男女共同参画白書

特集：人生100年時代における結婚と家族

～家族の姿の変化と課題にどう向き合うか～

① 性別に関係なく、自己の能力を発揮し、評価される社会

性的役割分担 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」

平成28年度の調査で反対する割合が、賛成の割合を上回る。

（反対の割合は、女性70歳以上で55.1%、女性その他の年齢で60%以上。男性でも反対の割合が現役世代で高い。）

もはや昭和ではない。かつては仕事をやめて育児を選ぶのが当然だったが、「社会や地域の支えがあれば、家庭環境に違いはあっても自分らしい生き方を選択できる」時代。

② コロナ禍で見えてきた課題・・・特に女性の就業や生活への影響は甚大

▶女性の就業者が多いサービス業を直撃し、非正規雇用労働者を中心に雇用情勢の急激な悪化（女性の自殺者の急増、DV相談件数の増加や女性の貧困問題が可視化）。

▶人生100年時代、結婚せずに独身でいる人、結婚後離婚する人、離婚後再婚する人、結婚（法律婚）という形をとらずに家族を持つ人、親と暮らす人等、家族の姿は多様に変化。

長い人生の中で経済的困窮に陥ることなく、
尊厳と誇りをもって人生を送ることのできる
社会の実現

③ 「男女格差(ジェンダー・ギャップ)2022年報告」世界146か国調査で日本は116位(主要7か国では最下位)。

・日本は教育・健康では、ほぼ男女平等だが、一方、女性議員、閣僚・管理職の少なさと収入格差から下位に沈んでいる。

2.ともに生きていく社会

■ 心も体も健康であること

元気:心に栄養+体に栄養 ~相談員の仕事から学んだこと~

心の栄養・・・「聴く」(関心をもって／温かいまなざしで／うなずき
ながら／共感しながら／守秘義務)

ストロークラリー;それはいいですね・そのとおり・素晴らしい・最高!

■ 共に生きる協働のまちづくり

① 地域の住民と各種団体、行政・学校等が協力・連携して、地域の課題解決について話し合い、地域力の向上をめざす。

② とともに顔の見える関係づくり

・ 必要とされる世話人 コーディネーター

・ 人の役に立ちたい、傍観しない(大切な視点)

地域の現状・・・少子高齢化、転出入者の増加、価値観の違い、生活
の変化 ➡ 地域の課題解決力が低下

これまで以上に市民の意識を尊重し、多くの市民の参加を促しながら、その知恵と力を加えたまちづくり。

③ 地域における女性活躍（リーダー）

- ・ 子育て応援講座（子育ての合間にリフレッシュ、しゃべり場）
子育ての不安・自身の今後の生き方
みんなで語ろう（子育て応援まっぷ・支援者）
「女性のまちづくり委員参画へ」
- ・ シニア向け元気 UP 健康講座

④ 男女共同参画推進団体：やまぐちネットワークエコー

- ・ 貢献・役立ち感・居場所
- ・ 団体 NPO（プラットフォーム）
防災 子育て 消費生活 就労

お互いが地域の課題を持ち寄り・学び・実践・共有し、それぞれのステージに生かす。

3.地域で安心して暮らす

■人生100年時代 誰一人取り残されない社会へ

超高齢社会を生きる道／上野千鶴子氏 令和3年度講演から

安心して弱者になれる社会を！安心して認知症になれる社会を！

安心して要介護者になれる社会,障害をもって生きられる社会を！

～そんな社会を作って次の世代に手渡したい～

社会を変えるシニアパワーの可能性

- ① どうせやるなら、自分で納得して楽しくやろう
- ② どんな経験でも無駄ではない。自信を持とう
- ③ 相談できる人を持とう
- ④ プラス志向で学び・考える強さ

～元気な高齢者が高齢者を支える取り組み～
(積極的な社会参加でハツラツと生きよう)

学ぶことはより良く生きること